

## 栄養

### 栄養に関する基礎データ

- 2004年、栄養不良に関わる原因により5歳の誕生日を迎える前に命を落とした子ども:560万人(5歳未満児の死亡原因の53%)
- 1996年から2005年の間、開発途上国における低体重(栄養不良の主な指標)の5歳未満の子ども:1億4,600万人(27%)
- 1996年から2005年の間、開発途上国において発育阻害に苦しむ5歳未満の子ども:31%
- 1996年から2005年の間、開発途上国において消耗症(急性の栄養不良)に苦しむ5歳未満の子ども:10%
- 1996年から2005年の間、低体重の子どもがもっとも多い地域:南アジア(45%)
- ミレニアム開発目標にある「低体重の5歳未満の子どもの数を半数にする」を達成できれば、死を免れたはずの子ども:5,000万人
- 毎年低体重で生まれてくる子ども:2,000万人以上
- 1998年から2005年の間、開発途上国において、毎年、低体重で生まれてくる子ども:16%
- 1998年から2005年の間、先進国において、毎年、低体重で生まれてくる子ども:7%
- 低体重で生まれてくる子どもが最も多い国:インド(年間780万人)
- 2000年、開発途上国において出生時に体重を測られない乳児:58%(後発開発途上国では68%)

### 母乳のみによる育児(6カ月未満):

- 世界中で、生後6カ月未満の間、母乳のみで育てられている子どもの割合:36%
- 90%母乳のみの育児であれば死を免れたはずの子ども:年間130万人
- 1996年から2005年の間、生後6-9カ月の子どもが母乳と補助食品で育てられた割合:52%

#### **ヨード欠乏症:**

- 1990 年、開発途上国において、ヨード欠乏症により生命の危機にさらされている人:32%(17 億人)
- ヨード欠乏症により、将来にわたって影響を受ける脳障害の病気から守られない新生児:3,700 万人
- 1998 年から 2005 年の間、開発途上国においてヨード添加塩を摂取している家庭: 71%
- 2004 年、ヨード欠乏症から守られている新生児:8,200 万人

#### **ビタミン A 欠乏症(6 - 59 カ月):**

- 2004 年、開発途上国においてビタミン A の補給を受けた子ども:68%
- 2 回のビタミン A 補給により、ビタミン不足による生命の危機から免れた子ども:最大 23% (ビタミン A 欠乏によって危機にさらされている子ども:1 億から 1 億 4,000 万人)
- サハラ以南のアフリカでビタミン A 欠乏の危機にさらされている子ども: 4,300 万人
- ビタミン A カプセル 1 錠の値段: 0.02 米セント

#### **鉄欠乏症による貧血:**

- 鉄欠乏症による貧血で苦しむ人:20 億人

(2007 年 4 月)